

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	地域子どもサポート推進事業						継続					
コード	24	-	84	-	03	-	00	予算事業名	川越・地域子どもサポート推進			
担当部署	教育総務部	地域教育支援課	地域教育支援担当	予算事業コード	会計	10	款	10	項	06	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	地域子どもサポート推進事業	
方向性(節)	1節	活力ある地域を創る生涯学習の推進	個別計画等の名称	川越市教育振興基本計画	
施策	2	生涯にわたる学習活動の推進	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	3	地域の教育力の向上			
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民、学校・教育施設職員を対象に、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校教育と社会教育の結びつきや相互支援をねらいとした学社連携・融合を実現し、関わる人の意識改革を図りながら、職員と市民の協働による、川越市にふさわしい子どもサポートを推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	市内を14地区に区分し、市民・市職員(社会教育施設)・教員からなるサポート委員会を設置し、事業を展開する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	6,172	8,365	6,508	5,966	5,534	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	5,735	7,913	5,733	5,702	5,534	5,408
人件費 B	7,337	12,473	13,207	13,207	13,207	13,207
総コスト(C=A+B)	13,072	20,386	18,940	18,909	18,741	18,615
正規職員(1年間の従事人数)	1.00人	1.70人	1.80人	1.80人	1.80人	1.80人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	1,927	2,727	1,408	1,342	1,341	1,300
その他特定財源 E						
市の財政負担(=C-D-E)	11,145	17,659	17,532	17,567	17,400	17,315

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※非常勤職員の給与は、事業費に含まれます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	各地区地域子どもサポート事業	人	11,105	15,409	22,196	33,696	35,380	26年度: 36,441
	指標の定義・説明	事業全体に関わった人数						
成果	各地区地域子どもサポート事業	回	178	203	269	352	362	26年度: 372
	指標の定義・説明	全地区事業数						
活動	各地区地域子どもサポート委員会	人	552	569	572	607	625	26年度: 643
	指標の定義・説明	サポート委員数						
活動	サポート委員会による学校支援事業	回	107	138	144	225	230	26年度: 236
	指標の定義・説明	学校支援事業数						

指標に基づく評価 各指標とも着実に増加し、各地域に子どもたちの「生きる力」を育む重要性が認識されつつある。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
・市内14地区のうち、活動が盛んなところとそうでないところがある。また、サポート委員の人数にも差が出ている。市内全域で十分な活動が行われるよう、引き続き支援が必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
・各地域に根付いてきている「子どもへの支援」に関する地域住民の意欲が衰退する。 ・地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりが衰退する。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				地域教育支援課	地域教育支援担当
事務事業名称		24	84	03	00	地域子どもサポート推進事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					